

にらさき

第1回定例会(3月)	P2
委員会活動報告	P5
第1回定例会議決結果	P6
ここが聞きたい(代表・一般質問) ..	P6



甲州軍団「火の2番隊」甘利備前守虎泰隊

三井金属鉱業株式会社グループ40名の皆さん

4月8日(土)、JR韮崎駅前広場で虎泰隊の出陣式がたくさんの方が見守る中で盛会に開催されました。大将 三井金属アクト株式会社 元作業長 城宝賢二様が戦勝祈願し、出陣を告げるのろしの合図で総勢40名の武者が、信玄公が待つ甲府舞鶴城本陣へ向け出陣しました。



韮崎工業高校太鼓部の皆さんと佐藤先生(後列右)

また、西野議長、内藤市長は武田の里ウォーク(8km)に参加後、出陣式に出席し、参加者を激励しました。

韮崎駅前の出陣式で、毎年、韮崎工業高校太鼓部の皆さんに勇壮な太鼓演武を披露していただいています。

観覧した皆さんから盛大な拍手が送られ、太鼓部顧問の佐藤先生は、「部員たちも緊張していましたが、心のこもった演武ができていました」と部員へのねぎらいの言葉がありました。

韮崎工業高校太鼓部のますますのご活躍を期待します。

平成29年度

当初予算総額259億7,484万6千円

内訳

- 一般会計 …………… 141億4,500万円
- 特別会計(13会計) ……… 78億3,570万7千円
- 企業会計(2会計) ……… 39億9,413万9千円

第1回定例会(3月)は、2月23日から3月15日までの21日間で開催しました。平成28年度の一般会計、特別会計及び企業会計に係る補正予算、並びに平成29年度の一般会計や特別会計、企業会計の当初予算、条例の制定、一部改正が議会に提出されました。

特に、平成29年度の当初予算は、厳しい財政状況にありますが、「第6次長期総合計画」や「韮崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に重点をおく中で、費用対効果の高い事業を優先的に採択し、積極的な予算編成を行ったことが市長の所信表明で示され、その結果、一般会計当初予算案は過去最大の予算額であり、対前年度比でも2.3%の増額予算でした。

会期中、提出議案について各常任委員会の審査や本会議での審議を通じて、議論を交わしました。

最終日には、人事案件や上程された議案の採決、恩賜県有財産保護組合議員の選挙、また議員発議の意見書の提出については、賛成の立場、反対の立場からそれぞれ議員が討論を行いました。

審議した条例等及び採決の結果は、6頁の「平成29年第1回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

なお、平成29年度の当初予算と主要事業につきましては、広報にらさき4月号の巻頭に特集記事が掲載されていますのでご覧ください。

【主な条例の一部改正】

■議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例〔議案第27号〕

公職選挙法施行令の一部改正により、消費税の増税を踏まえた選挙運動に要する経費に係る限度額の見直しが行われたことから、本市もこれに準じて公費負担の限度額を引き上げるものです。

区分		現行	改正後
選挙運動用自動車の使用	自動車借入れ	15,300円	15,800円
	燃料費	7,350円	7,560円
選挙運動用ビラの作成	1枚当たり	7円30銭	7円51銭
選挙運動用ポスターの作成	1枚当たり	510円48銭	525円6銭
	企画費	301,875円	310,500円

・施行期日：公布の日 ※平成29年3月21日付けで公布されました。

【選挙運動の公費負担】

選挙に立候補しようとする人の負担を減らし、立候補の機会均等や候補者間の選挙運動の費用均等を図る手段として、国または地方公共団体が候補者の選挙運動の費用の一部を負担します。

本市の市議会議員選挙や市長選挙はこの条例によるもので、選挙運動用自動車やポスター作成費など、公職選挙法で認められている一定の選挙運動費用が、所定の限度額まで候補者に代わって公費で支払われます。費用は、候補者に支払われるのではなく、あらかじめ候補者と契約した業者が選挙管理委員会に請求します。

なお、公費負担は供託物没収点以上の得票が得られたときに受けられるので、得られなかった場合は、選挙運動費用全額が候補者の自己負担となります。

（参考）本市選挙での供託物の例

選挙の種別	供託額	供託物没収点
市の議会の議員	30万円	有効投票総数／議員定数（18人）×10分の1未満
市の長	100万円	有効投票総数×10分の1未満

■放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例（議案第30号）

右の2つの放課後児童クラブの設置数を見直すもので、両児童クラブ数は現行、それぞれ1クラブでしたが、改正により2クラブにするものです。

- ・施行期日：平成29年4月1日

現行	改正後
葦崎児童クラブ	葦崎児童クラブ（第1） 葦崎児童クラブ（第2）
北東児童クラブ	北東児童クラブ（第1） 北東児童クラブ（第2）

■若者定住就職奨励金支給条例の一部を改正する条例（議案第31号）

若者の移住・定住を促進するため、就職または起業を目的に本市に転入される45歳未満の方に対し、定住就職奨励金を支給するもので、平成29年3月31日までの有効期限を3年間延長し、平成32年3月31日までとするものです。

- ・施行期日：平成29年3月31日

【お知らせ】

対象要件を満たす方には、10万円の定住就職奨励金が支給されます。

なお、受給には必要書類をご用意いただいた上で申請が必要です。また、申請にも期限がありますので、詳細は次にお問い合わせください。

◇申請・問い合わせ…商工観光課 商工労政担当：TEL 22-1111（内線216）

■民俗資料館設置及び管理条例の一部を改正する条例（議案第32号）

休館日に関する取扱い、入館料等の明確化を図るためのものです。

- ・施行期日：平成29年4月1日

【葦崎市民俗資料館について】

本資料館は昭和55年に開館し、市内の民俗資料や大英博物館で展示された仮面土偶、美土偶グランプリで全国2位となった土偶などが収蔵展示されています。また隣接して直径約4mの水車や明治初期の蔵座敷も移設展示されていますので見学にお越しください。

1. 場 所：葦崎市藤井町南下條786番地3
2. 開館時間：午前9時から午後4時30分まで（午後4時頃までに入館してください）
3. 休 館 日：月曜日、木曜日の午前中、休日の翌日、12月29日から翌年1月3日

※木曜日の午前中は資料調査のため休館します。また、祝日や祝日の振替休日等により、休館日が変更になる場合があるので、開館日を事前に確認するには次にお問い合わせください。

◇葦崎市民俗資料館：TEL22-1696 ◇市役所教育課 文化財担当：TEL22-1111（内線269・270）

なお、インターネットで「にらみんのお散歩日記」と検索していただくと、本資料館の休館予定を確認できます。

4. 入館料：無料

【人事】

■副市長の選任について〔議案第36号〕

副市長 水川秋人氏が平成29年3月31日をもって辞任することに伴い、その後任者の選任について市長から議会の同意を求める提案がされ、その選任に同意しました。

五味 秀雄氏（富士見ヶ丘）

【選挙】

次の各恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成29年3月31日をもって満了となるため選挙を行い、指名推選により当選しました。

■大阪外三山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について〔選挙第1号〕

（選挙をすべき地域及び定数：穂坂町 5人）

当選者は次のとおりです。

宮川 文憲氏（穂坂町：柳平） 平賀 武秀氏（穂坂町：三ツ澤） 名取 明氏（穂坂町：宮久保）
保坂 春良氏（穂坂町：上今井） 保坂 文武氏（穂坂町：長久保）

■大明神山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について〔選挙第2号〕

（選挙をすべき地域及び定数：穂坂町 5人）

当選者は次のとおりです。

横森 高幸氏（穂坂町：飯米場） 岡田 邦男氏（穂坂町：三ツ澤） 宮川 一伯氏（穂坂町：柳平）
保坂 健一氏（穂坂町：原） 保坂 良夫氏（穂坂町：長久保）

■奥野山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について〔選挙第3号〕

（選挙をすべき地域及び定数：穂坂町 2人）

当選者は次のとおりです。

名取 紘一氏（穂坂町：宮久保） 横内 政彦氏（穂坂町：三ツ澤）

【意見書】

■地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について〔議第1号〕

【意見書の概要】

近年は都市部を中心に議員の専門化が進んでいる状況にあるが、地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっています。

国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早期に実現するよう強く要望します。

なお、意見書は議会の意思として、衆議院議長及び参議院議長、並びに内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

研修報告



■ペーパーレス（タブレット化）の取り組み

□富士川町議会（山梨県）を行政視察

全国的に導入や検討が進められている議場でのタブレット導入について、本市議会も調査・研究を進めています。

平成29年5月18日、県内で既に導入している富士川町議会を視察し、富士川町議員から導入経緯や運用状況の説明を受け、意見交換しました。費用対効果など、効率的な議会運営に向け今後も研究していきます。



富士川町議会行政視察

委員会活動報告

各議案番号の件名については、6頁「平成29年 第1回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

総務教育常任委員会

■平成29年3月8日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第26号、第27号、第28号、第32号及び第33号

・右の5議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

■平成29年5月15日 現地視察調査

□甘利小学校・韭崎東中学校・穂坂小学校
・今回は右の3校を視察し教職員と意見交換しました。甘利小学校では大規模改修工事により完成した学習メディア給食棟並びに多目的室において、児童のICT機器を利用した学習の様子について、説明を受けました。



甘利小学校現地視察

市民生活常任委員会

■平成29年3月9日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第29号及び第30号
・右の2議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

■平成29年5月11日 現地視察調査

□再編第2保育園建設状況・子育て支援センター「にら★ちび」・市立病院
・市立病院で導入した電子カルテシステムについて視察しました。本システムは、従来、紙であった診療録（カルテ）を電子化したものであり、院内での情報の共有化やスピード化が図られるとともに、患者個々への医療行為を正確に伝達することができ、安全で迅速な医療の提供に役立っています。



市立病院現地視察

産業建設常任委員会

■平成29年3月9日 委員会開催

〔主な審査事項〕

□議案第25号、第31号、第34号及び第35号
・右の4議案は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

□平成29年4月21日 提言書提出



内藤市長に提言を提出する西野議長と田原副議長、宮川産業建設常任委員長

議案報告会に参加者から出された意見を踏まえ、本委員会が調査・研究した内容を「1. ワインの消費拡大に向けた関係者による協議の場の構築」「2. ブドウ生産者への支援策の検討」「3. 市場需要を高めるための積極的な取り組み」としてまとめ、議員全員に諮り協議し、『本市で生産するワインの消費拡大に向けた「チーム韭崎」の取り組みに係る提言』として西野議長から内藤市長に手渡しました。

◆政策提言

議会は、市が行う施策などの検収及び評価、並びにたゆみない議会改革を進めています。また議会の政策提案機能を積極的に活用していくために、市民から提案されたご意見や議員研修などから市政に関する課題を取り上げ、調査・研究し、議員間で議論を活発に行い、その結果を市に対して積極的に政策提言してまいります。

会派の変更のお知らせ

平成29年4月に会派の構成に変更があり、現在は次のとおりです。

(☆印は、会派会長)

(注)議会内で政策を中心とした理念を共有し、活動を共に行う議員の集まりを会派と称しています。

- 荏真クラブ
- 協伸クラブ
- 荏政クラブ
- 公明党
- 日本共産党
- 親和クラブ
- ◇ 無会派

- ☆ 宮川 文憲
- 内藤 正之
- ☆ 興石 賢一
- ☆ 守屋 久
- ☆ 小林 伸吉
- ☆ 小林 恵理子
- ☆ 清水 康雄
- 一木 長博

- 田原 一孝
- 山本 雄次
- 小沢 栄一
- 森本由美子
- 渡辺 吉基

- 高添 秀明
- 木内 吉英
- 西野 賢一

- 浅川 裕康
- 金井 洋介

平成29年 第1回定例会議決結果一覧表

賛否のあった議案

議案番号	件名	金井洋介	木内吉英	小沢栄一	内藤正之	渡辺吉基	浅川裕康	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	山本雄次	田原一孝	小林伸吉	興石賢一	森本由美子	一木長博	小林恵理子	結果							
議案第9号	平成29年度一般会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決						
議案第10号	平成29年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決					
議案第13号	平成29年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決				
議案第14号	平成29年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決			
議案第27号	議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決		
議案第1号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

全会一致の議案

議案番号	件名	結果
議案第1号	平成28年度一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第2号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第3号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第4号	平成28年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第5号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第6号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第7号	平成28年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第8号	平成28年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第11号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第12号	平成29年度簡易水道特別会計予算	可決
議案第15号	平成29年度介護サービス事業特別会計予算	可決
議案第16号	平成29年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計予算	可決
議案第17号	平成29年度水道事業会計予算	可決
議案第18号	平成29年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第19号	平成29年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第20号	平成29年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第21号	平成29年度旭山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第22号	平成29年度八森恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第23号	平成29年度戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計予算	可決
議案第24号	平成29年度青木御座石財産区特別会計予算	可決
議案第25号	農業委員会の委員等の定数に関する条例	可決
議案第26号	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第28号	個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議案第29号	税条例等の一部を改正する条例	可決
議案第30号	放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	可決
議案第31号	若者定住就職奨励金支給条例の一部を改正する条例	可決
議案第32号	民俗資料館設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決
議案第33号	峡北広域行政事務組合規約の一部を変更する規約	可決
議案第34号	市道の路線廃止について	可決
議案第35号	市道の路線認定について	可決
議案第36号	副市長の選任について	同意
選挙第1号	大阪外三山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選
選挙第2号	大明神山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選
選挙第3号	奥野山恩賜県有財産保護組合議員の選挙について	当選

代表質問

一般質問

10人の議員が市政を問う

こちらをのまぢづくり
ここが聞きたい

代表質問及び一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、
葦崎市ホームページ↓市議会↓会議録検索でご覧いただけます。録画中継も配信しています。



高添 秀明 議員
[菫真クラブ]

その他質問

- ◆誰もが安心して暮らせるまちづくりについて
 - ・健康づくりの推進について他8項目
- ◆心地よい定住環境のあるまちづくりについて
 - ・自然環境の保全について他7項目
- ◆魅力あふれるまちづくりについて
 - ・農林業の振興について他6項目
- ◆人が集う交流のあるまちづくりについて
 - ・住民主体のまちづくりについて他3項目
- ◆健全な行政活動によるまちづくりについて
 - ・行財政改革の推進について他1項目

代表質問

質問 子育て支援の充実

答 市長 妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援を行うため、平成30年4月の菫崎すくすく子育て相談センター開設に向け、関係機関とのさらなる連携強化を図ることとしております。また、入進学時の祝い金については、おめでとう赤ちゃん出生祝い金の見直しとあわせ検討していきます。

質問 子育て環境の整備

答 市長 再編整備計画を踏まえ、ソフト面の施策の充実について、市民の皆様のご意見を伺いながら調査・研究していきます。

質問 幼児教育の充実

答 市長 多子世帯への優遇措置の拡充を含め、少子化対策の有効な手段

を検討していきます。

質問 学校教育の充実

答 教育長 市の教育については、子どもが夢を持ち続けることができる教育を基本方針とし、教育の充実に取り組んでいます。今後においても、小学校の英語科を引き続き先行実施するとともに、郷土愛を育む教育の充実や、ICT機器を活用した効果的な学習などに取組み、主体的、対話的で深い学びの実現に努めていきます。また、教職員については、国の研修などに積極的に派遣し、中堅教職員の育成に力を注いでいます。

質問 青少年の健全育成

答 教育長 薬物、有害図書など、指導者を対象とした研修会を実施する

誰もが安心して暮らせるまちづくりについて

質問 健康づくりの推進

答 市長 本市では、第2次菫崎健康増進計画をもとに、健康増進や生活習慣病予防のための各事業を実施しており、今後も健康教育や健康相談の充実により、各種健診等の受診率向上に努めていきます。

代表質問

交通安全対策について

質問 子ども達のために更なる安全対策の検討が必要ではないか。

答 教育長 各学校の安全点検をもとに、通学路交通安全プログラムによる合同安全点検を実施し、関係機関への対策及び改善依頼と、児童・生徒への交通安全指導、教育を行っています。今後においても、より危険な箇所から順次改善し、近々の対策が困難な危険箇所については、保護者やスクールガードボランティアなどの協力を得ながら交通安全指導を強化し、事故発生の抑制に努めていきます。

質問 高齢者に特化した交通安全啓発活動の取り組み状況について。

答 市長 これまで高齢者が多く集うイベントなどの機会を活用し、日常の歩行において安全に道



小沢 栄一 議員
[菫政クラブ]

路を通行するため、注意すべき事柄や、交通ルール等について呼びかけを行っています。本年度は新たに安全確保に効果の高い反射材の普及啓発を目的として、70歳以上の一人暮らし老人のふれあい交流交歓会の中で、菫崎警察署による交通講話を実施しました。

スポーツ環境について

質問 子どもの体力向上に向けての取り組み状況

答 教育長 体力テストの結果から、学校で実情に応じた数値目標と具体的な取り組み内容を計画し、県の指導重点に定められている「健康体力づくり一校一実践運動」に取り組み、児童・生徒の健康と体力の向上を図っています。

また、スポーツ推進委員による児童センターの子ども達を対象とした二ユースポーツ教室や、各地区での体力測定会等で、子どものスポーツに接する機会の増大に取り組んでいます。

地域包括ケアシステムの構築について

質問 地域包括ケアシステム構築へ向けた今後の取り組みは。

答 市長 明年度は、高齢者支援のニーズとサービス提供者の活動を調整する生活支援コーディネーターを配置し、これらの体制により地域支援事業を充実させ、地域包括ケアシステムの構築を進めていきます。

地域芸術・文化について

質問 明年度の武田の里文化振興協会の運営理念と事業計画について。

答 教育長 文化振興協会は、ふるさとの伝統芸能活動の発展継承に努め、また芸術家や団体の育成にも積極的に支援を行い、芸術文化の振興及び地域文化の創造を図るという運営理念のもと、武田の里音楽祭や吹奏楽フェスタ、武田の里ライフカレッジなどの事業を実施することとしています。

質問 文化振興協会と本市の連携体制については。

答 教育長 定期的な協議の場を設け、生涯学習事業の推進を図っていきます。

代表質問



小林恵理子 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆子育て支援政策について
 - ・子どもの貧困対策について
 - ・保育の充実について
- ◆中小企業・小規模事業者への支援対策について
- ◆穂坂町柳平地区の大規模太陽光発電施設建設計画について
- ◆思想・内心の自由を侵す「共謀罪」法案について

2017年度当初予算について

質問 社会保障の改悪や消費税の増税で暮らしが悪化しています。勤労者の実質賃金も下がり続けています。政府の新年度予算案でも、後期高齢者医療保険料、高齢者医療費、介護利用料の負担増、年金や児童扶養手当などの減額が予定されています。更に市の来年度当初予算では、公共施設などの使用料の値上げ、下水道使用料は25%引き上げられます。一方で国民健康保険特別会計では、3億7,765万円の基金見込額を計上しています。賃金も上がらず、市民の負担が増えるのは、消費にまわらず景気の回復は望めません。負担を減らし、収入を増やしていくことが市の来年度予算には求められています。市長の見解を求めます。また、当初予算には赤ワ

インの丘プロジェクトの事業費の計上がなく、その説明もありませんが、理由を伺います。

答弁市長 当初予算は、社会保障費などの義務的経費が増加し、大変厳しい財政状況ですが、働く世代とその子ども達が輝くまちづくりを目指し、市民目線での予算編成を行いました。また、赤ワインの丘基本構想プロジェクトは、本年度は実現可能となった企業誘致に向け、周辺環境の整備事業など行ってきました。「完熟農園」などの状況も踏まえ、現在、施設整備を中心とした基本構想の実現可能性調査を行っているところであり、併せて穂坂産ブドウによる地域ブランド化に向けた協議を進めています。

男女共同参画の推進について

質問 「第2次藤崎市男

女共同参画推進計画」は10年間の計画で、新年度で半ばを迎えます。平成28年度の実績を伺います。また、これまでの取り組みの検証、今後の推進方法の検討が必要で、特に市管理職員の女性の登用を進めるべきです。更に市内の事業所で男女が共に活躍できる職場環境が整っているのか把握する事も必要と考えますが、市の見解を求めます。

答弁市長 平成28年度実績見込みは、自治会に占める女性の割合1%、市男性職員の育児休業率0%、管理職に占める女性の割合は8.1%となっております。計画については、毎年度実施状況をもとに検証、検討を行っています。

また、県が毎年実施している「企業子宝率調査」の市内優良事業所の取組状況を広報等で周知しています。

代表質問



小林 伸吉 議員
【公明党】

その他質問

- ◆保育園について
 - ・民営化の進捗状況について
- ◆生活困窮世帯の子どもの支援について
 - ・学習支援について
 - ・子ども貧困対策実施計画について
- ◆健康ポイント事業の状況について

がん教育について

質問 がん教育を実施した各市町村の調査結果で、がん検診率が上がっているとの結果も出ています。市民のがんへの理解と検診率向上、啓発を進める中で、児童・生徒へのがん教育の重要性も感じますが、がん教育に対する本市の考えは。

答弁教育長 現在、小学校6年生、中学校3年生の保健体育の授業で、健康な生活と疾病の予防について、また、がんを代表とする生活習慣病についての学習をしています。文部科学省のがん教育ガイドライン等が示されたので、今後も学校教育活動全体を通して、がん教育に更に取り組みます。

妊娠からの切れ目のない子育て支援について

質問 産前産後ケアセン

質問 妊娠から出産、産後まで切れ目なくワンストップで総合的な相談支援を行う子育て世代包括支援センターの導入が全国でも進んでいるが、市長の所信表明にある「藤崎すくすく子育て相談センター」に係る内容はどのようなものか。

答弁市長 保健課で実施している妊婦健康診査、乳児家庭全戸訪問事業などの利用者支援事業（母子保健型）に加え、当事者目線での相談支援や情報提供により、子育て支援事業や施設等への円滑な利用につながる利用者支援事業（基本型）を、子育て支援センターで相談室の開設及び関係機関との連携を図り、明年度10月から実施します。

また、相談業務の増加が予測されるので、利用者支援専門員2名を増員し、体制の強化を図ります。

不安や疲労がある母親に宿泊型ケアを提供する施設です。本市でも、母子手帳の交付の際に利用料のクーポン券などで助成し、更にセンターの利用を促進する母親たちに寄り添った施策が必要と考えるが。

答弁市長 本市では、宿泊型産後ケア事業の開始当初から、県と合わせて82%の公費助成を行っており、また日帰りケア、母乳ケア等は、従来より実施しているので新たな助成は考えていません。

質問 厚生労働省は、来年度から産後うつ予防や早期発見のため産後ケアを行う市区町村に対し、産後2週間や1カ月に行う検診費用を助成します。本市でも産婦検診費用を助成すべきと考えますが。

答弁市長 産婦健診の助成については、過日、国から事業概要が示されたところなので、今後検討していきます。

一般質問



浅川 裕康 議員
[菫真クラブ]

平成29年度予算編成の市長の考え方について

質問 任期折返しでの予算編成となるが、市長の思いがどのような形で予算に反映されたのか。

答 任期折返しでの予算編成となるが、市長の思いがどのような形で予算に反映されたのか。平成29年度予算編成の市長の考え方について。任期折返しでの予算編成となるが、市長の思いがどのような形で予算に反映されたのか。

るための効率を最大限に高めること。以上の3つのポイントに留意して予算編成をしました。また、テーマについては、子育てや教育分野の将来性への先行投資、地方創生事業による交流人口の強化、産業雇用の創出を主題に予算を編成しました。

「子どもの貧困」対策について

質問 本市の子どもの貧困の実態把握の現況及び学習支援の状況は。

答 本市の子どもの貧困の実態把握の現況については、貧困状況にある子どもや家庭の個別調査は様々な事情が背景にあり、非常に難しいことから就学援助受給世帯等の状況により、低所得世帯の推計を行っています。なお、先般、県において全県調査の方針が示されたので今後の動向を注視していきます。また、学習支援については、明年度、生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象に学習支援を行うこととしました。なお、実施に際しては、

青少年育成プラザ「ミアキス」について

個々の実情に配慮する中で細心の注意を払い、参加を求めていく考えです。質問 現在の目標及びその目標に対する実績・成果は。また、業務時間外における他の利用方法への所見は。

答 現在の目標は、初年度は多くの中・高校生に利用してもらうため、利用登録者数を700名に設定するとともに、活動の核となる中・高校生プロジェクトも実施目標を3事業と設定しています。また、実績と成果は、現在、利用登録者数は815名、月平均の利用者数は737名であり、中・高校生プロジェクトについては、菫崎の魅力を中・高校生目線で探るニラサキ大探検事業や文化祭など10事業が実施されており、いずれも目標を上回っています。

なお、業務時間外における利用方法については、中・高校生以外の世代の方々からの利用要望の声もある中で、有効な活用について検討していきます。



内藤 正之 議員
[菫真クラブ]

収納対策について

質問 平成27年度の決算では市税等の賦課税及び徴収状況は、市税現年調定額43億3,228万円に対し、収入額42億6,550万円、収入未済額は6,164万円、国民健康保険税他、介護保険料を合わせると、収入未済額総額1億3,011万円です。滞納繰越分を見ると、調定額6億766万円に対し、収入額1億3,219万円、収入未済額は4億2,647万円です。本年度の市税等の現年分と滞納繰越分の収入見込を伺います。

答 都市部では景気が緩やかながらも回復基調にあるものの、地方ではそれを実感することは難しいと認識しています。本市においては、主要企業の堅調な伸びが法人市民税に反映し、本年度の市税の収入見込みについては現年分が45億9,242万円、滞納繰越分は国民健康保険税や介護保険料等を含めて1億2,191万円、収入未済率21.95%を見込んでいます。

その他質問

- ◆菫崎市国民健康保険の状況について
- ◆菫崎市立保育園民営化の状況について
- ◆教育の充実策について

安心安全な登下校について

質問 市長は、所信表明の中で中学生以下の平日の市民バス利用料金について、利用距離に関係なく1回100円とし、4月から実施すると表明をいたしました。バス通学の中学生には朗報であり、100円であれば気軽に利用でき、安心安全の面からも大変良い改正だと思えます。また、現行の中学生の通学定期助成制度の見直しもすることと思いますが、菫崎小学校に通う一ツ谷の児童は、登下校に路線バスを利用しており、定期でも1カ月間に相当な額を負担していると感じています。これらの小学生にも新たな通学定期助成を望みますが、考えを伺います。

答 市民バスの料金改定に合わせ定期料金が改定されるので、中学校遠距離通学費補助を見直すとともに、一ツ谷地区から菫崎小学校へのバス通学に対する補助についても新規に導入する予定です。



金井 洋介 議員
[誼政クラブ]

執行部と議会の関係について

質問 執行部並びに議会がお互いの考えに理解を示し、意見の合意形成を図りながら、議会の提案が市民生活に反映されることが望ましいと考える。執行部が議会をどのような機関と捉えているのか。そして、どのような期待を持っているのか。また、民意を反映した政策立案、政策提言についてどのように考えているのか。

回答 市長 地方議会は、地方自治法などにより議決権をはじめ様々な権限が与えられた機関と考えています。議会には執行部と対等な立場で切磋琢磨し、健全な住民福祉の増進を図っていくことを期待します。また、政策立案等については、議会に与えられた権限であると認識しています。

質問 市民の幸せを願い、住民福祉の増進を実現す

るためには、権限の先に向かわなければならぬ。政策立案、政策提言の内容を執行部と

立場で対話、そして討論することによって高い次元の知識や発想を発見、生み出すことを繰り返しながら、いずれは施策へと転換し、市民福祉の増進、向上に寄与することを望んでいる。市長はどのような心構えを持って民意を反映した政策立案、政策提言を取り扱われるのか。

回答 市長 就任以来私は、市民目線での市政運営ということを常に心がけ、また民意を反映した施策を展開してきたつもりです。今後も市民の皆様、また議会のご意見を伺いながら、市民福祉の向上に努めていきたいと考えています。

学校教育の充実と子育てについて

質問 学校教育の充実のために教職員、児童・生徒、その保護者と家族の目線を重視し、また学校

側の創意工夫を奪うことのないよう尽力いただきたいが考えは。

回答 教育長 よりよい学校教育、学校運営を行うには、学校が説明責任を果たし、保護者の意見を聞く中で、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりを進めていくことが重要と考えます。また、教職員が子どもとより多く触れ合う時間が確保できるように、創意工夫しています。

質問 子どもたちとより多く触れ合う時間の確保に向けた取り組みは。

回答 教育長 県教育委員会は、新年度から学校の多忙化解消に向けた協議を行います。本市では既に各学校で容易によいものをよりすぐることの方法を考え、あるいは行事等の持ち方の工夫など様々な試みをしていて、新年度から可能な限り実行することとしています。こうして生み出した時間の中で、今まで以上に子どもたちと一緒に遊んだり、相談に乗ったりできるようにする、その触れ合いの時間を設けていきたいと考えています。



木内 吉英 議員
[協伸クラブ]

安全安心のまちづくりについて

質問 認知症状から徘徊が心配される方などの見守り体制を強化する、みまもりあいプロジェクト「見守りステッカー」の導入についてです。「見守りステッカー」とは、発見者が通報する電話番号と緊急連絡転送ID番号が記載されたステッカーを衣類や持ち物に貼り付けておき、外出時の緊急事態への備えとして、行方がわからなくなった時などの早期発見や保護、身元確認につなげるものです。365日24時間の対応が可能で、個人情報保護した状態で発見者と家族などが直接通話することができ、日本で唯一の特許技術活用ステッカーです。

地域で見守りが必要とする方々のサポートツールとして安心して使用でき、使いやすく、非常に

その他質問

- ◆ 葦崎市の活性化について
- ・ 地域おこし協力隊について
- ・ 賑わい創出について
- ◆ 葦崎市民交流センターについて

効果的だと考えられますので、本市においても導入を強く望みますが、見解を伺います。

回答 市長 認知症の方に対する見守り支援は、これまで多種多様な手法について調査・研究してきました。「見守りステッカー」は、費用対効果や家族の理解・協力など多くの課題があるので、今後も他市の状況等を注視していきます。

質問 葦崎警察署は、施設の老朽化や駐車スペース等が手狭で利便性に欠けることから、甲斐市への移転計画が進められています。150年近く本市の安全安心を守り続けてきた葦崎警察署の移転の公表後、市民から治安の悪化や緊急時への対応について心配する声を数多く聞いています。駅前交番の警察官の増員や移転も含めた交番の整備に対する考えと、移

転後の葦崎警察署の跡地の活用について伺います。

回答 市長 駅前交番の機能強化の拡充等については、市内の治安対策の後退が無いよう、移転には万全を期していただく旨、平成27年1月に県警本部長宛てに要望をしています。また庁舎跡地の利用については、移転時期を見据えながら有効活用を考えていきます。

質問 多様な電話詐欺が多発しており、本市においても依然高い水準で被害が発生しています。本市では、被害の手段となる不審な電話に効果的とされる振込詐欺等防止装置の設置費用の助成を、平成27年度から高齢者がいる世帯に行っていますが、現在までの利用状況と、防災無線と連動して配信している防災防犯メールマガジンの利用状況を伺います。

回答 市長 振込詐欺抑止電話装置の利用状況は2月末までに54件の実績であり、防災防犯メールマガジンは、現在800人の配信希望者の登録があります。



渡辺 吉基 議員
【日本共産党】

その他質問

- ◆地域からの要望について
 - ・県道甘利山公園線大草町若尾地区交差点から徳島堰までの拡幅整備について
 - ・県道甘利山公園線の速度規制の表示について
 - ・主要地方道茅野・北杜・葦崎線（青坂）の歩道設置について
- ◆葦崎市事務事業外部評価委員会について

葦崎市介護予防・日常生活支援総合事業について

質問 介護予防・日常生活支援総合事業が4月から始まりです。要支援1、2の訪問介護、通所介護を受けている方で、本人や家族から現行サービスを受けたいという要望が出された場合は、できるだけ要望を受け入れるようにすべきです。

地域密着型介護老人福祉施設の設置について

質問 地域密着型介護老人福祉施設は、住み慣れた地域で過ごせる施設です。家族なども足を運びやすく、ユニット型の全

室個室で、自宅で使いたれた家具や身の廻り品の持ち込みができますが、市内には1カ所あるのみです。本市の特別養護老人ホーム入所申込者（待機者）は、平成28年4月時点で144人に達しています。地域密着型介護老人福祉施設を更に設置できるよう、次期介護保険事業計画に建設を明記すべきです。

答 市長 学識経験者や市民の代表者からなる葦崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定懇話会で協議していきます。

国民健康保険の短期保険証について

質問 2012年短期保険証発行の364世帯のうち留め置きは2世帯でしたが、2014年は短期保険証発行331世帯のうち留め置きが147世帯になり、増加しています。2016年では54.7%、半数以上が留

め置きになっています。本市の短期保険証は全て1カ月の有効期限です。有効期限が切れ、市役所の窓口に行かないと留め置きとなり、無保険状態になります。2009年12月16日に厚生労働省は「短期保険証の交付趣旨は、（中略）一定期間、これを窓口で留保することはやむを得ないが留保が長期間に及ぶことは望ましくない」と通達しています。窓口に来ない場合は、訪問や電話連絡等で状況を確認し、やむを得ない場合は、短期保険証を交付して無保険状態を無くすようにすべきです。

答 市長 様々な接触の機会を持ち、それぞれの実態にあった納税相談で対応し、保険証の無い状態が長期にわたらないよう、更に納税相談等の周知を行っていきます。なお、やむを得ないと判断した場合は、現在も短期保険証を交付しています。

国民健康保険葦崎市立病院について

質問 現在の経営状況と改善策について。

答 市長 現在の経営状況については、経営指標については、経常収支比率は本年度87.0%、明年度96.9%、職員給与費対医療収益比率は本年度64.5%、明年度62.6%、病床利用率は本年度70.3%、明年度、73.4%を見込んでいます。また、明年度予算編成に当たっては、一般病床の一部を地域包括ケア病床へ転換することによる入院診療単価の増加を見込み、経費面でも外部委託の見直しなどで、収支改善に努めていきます。

質問 市立病院新改革プランに掲げる一般病床から地域包括ケア病床への転換で見込む初年度の増収額と稼働率、内科常勤医師確保について。

答 市長 地域包括ケア



守屋 久 議員
【経世会】

に對する継続的な働きかけと並行して、同大学以外の新たな招へい先の検討を進め、早期での確保を目指していきます。

質問 市立病院の現場管理者にある院長の管理責任について。

答 市長 これまで病院長から経営に関する報告を受ける機会を設け、その都度、患者数減少に伴う収益低下、医師確保の対策など、現場管理者としての考えをただしてきました。また、経営状況が悪化してきていることは事実で、病院長の管理責任は問う必要があると考えています。

明年度は病院新改革プランの初年度であり、経常収支の早期黒字化を目指す。院内の信頼関係を整え、職員一丸で経営健全化に取り組みよう強く指示し、改善に対しての成果・結果を病院長に求めていく考えです。その上で、しかるべき時期に

保育にかかわる自治体行政の動向について

は、病院長の現場管理者としての適格性について判断していくことを考えています。

質問 保育園再編整備計画が着々と進められている一方で、定員割れの保育園もあり、保育士不足による影響と恐れられます。保育研究所の資料では、南アルプス市などで定員数が増加しています。保育士確保対策や正規・非正規雇用の処遇改善も必要と思います。

答 市長 南アルプス市などの定員増加は、市内の私立幼稚園などが、認定こども園に移行したことによるものと認識しています。全国的に認定こども園への移行で保育士の需要が高まり、公立保育所の保育士確保は大変厳しい状況にあります。本市は、園児数に対する保育士の配置基準は満たしていますが、支援が必要と思われる、気になる子どもなどの保育にあたる加配保育士は、人材派遣会社を通じて確保していきます。

【トピック・ニュース】

■ 峡北広域行政事務組合の新庁舎竣工式が行われました



新庁舎（韮崎市本町四丁目8番36号）



旧庁舎（韮崎市本町四丁目9番48号）

今まで使用していた庁舎は、峡北地区消防組合庁舎として昭和46年に建設されたもので、施設の老朽化が否めず、耐震の観点からも新庁舎の建設が必要でした。新庁舎は今までの庁舎の東側に建設され、4月17日に竣工式が行われました。

新庁舎での業務は5月から順次開始されています。

峡北広域行政事務組合は、昭和57年4月1日に韮崎市を中核とした山梨県北西部の1市7町3村をもって設立されました。現在は市町村合併に伴い、韮崎市、北杜市、甲斐市（旧双葉町、旧敷島町）の構成となっています。

組合が共同処理する事務は、消防に関する事務や、ごみ処理施設、総合福祉センター、し尿処理施設の建設及び維持管理に関する事務等があり、組合の議会には、本市議会から6人、北杜市議会から10人、甲斐市議会から4人の議員が各市議会で選挙され組合議員になっています。

なお、本市議会の組合議員は、輿石賢一議員、田原一孝議員、宮川文憲議員、守屋久議員、浅川裕康議員、金井洋介議員です。

編集後記

市民交流センター「ニコリ」の地下にオープンした青少年育成プラザ「ミアキス」で、中高生が自主的に活動してきた中の「中・高生プロジェクト」の報告会が2月下旬に行われました。中・高生の目線でアイデアを出し合った活性化策などが紹介され、地域の皆さんにも好評だったと聞きました。また先日、県内高校2、3年生を対象に将来の暮らしや進路の希望を尋ねたアンケートでは、「将来山梨で暮らしたい」が7割を占めていました。

心を持つ若者が増えてきていると感じています。本市は、子育て支援の充実など若者が子どもを安心して産み、育てられるまちづくりに取り組んでいます。将来多くの若者がふるさと「にらさき」に住み、韮崎を担う若者が一人でも多く育つことを期待します。

（小林伸吉）

市議会だより編集委員会

委員長	西野 賢一
副委員長	田原 一孝
委員	小林 伸吉
〃	山本 雄次
〃	清水 康雄
〃	高添 秀明
〃	宮川 文憲

- 6月 8日 開会
諸報告
市長所信表明
議案審議
- 19日 一般質問
- 20日 一般質問
- 21日 議案審議
財務常任委員会
(議案審議終了後)
総務教育常任委員会(午後)
- 22日 市民生活常任委員会(午前)
産業建設常任委員会(午後)
- 26日 議案審議
委員会報告
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※常任委員会の傍聴を希望する方は、開催日の2日前まで（休日を除く）に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

6月定例会日程〈予定〉